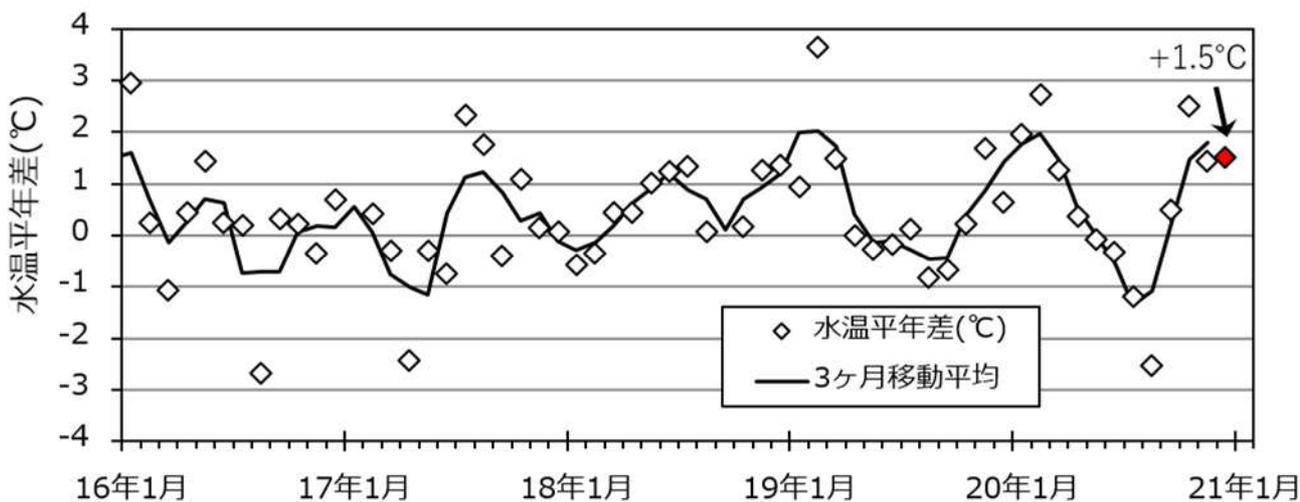


【水温の変動】

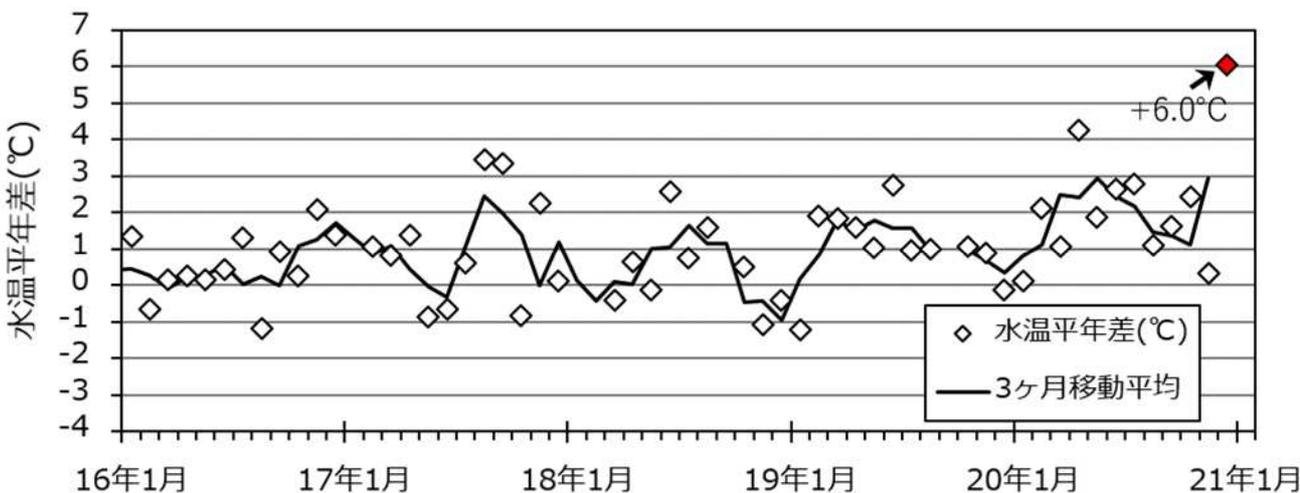
12月9日、10日に、調査船海幸丸により渥美外海の観測を実施しました。湾口部では平年差+1.5°Cで高め、沖合域では+6.0°Cで極めて高めでした。

12月10日の人工衛星画像によると、黒潮は都井岬沖を北東に進み、潮岬沖を北緯32度付近まで南下した後、大王崎に接近し、房総半島沖へ流れています。渥美外海は、黒潮が接近している影響で高温傾向が続いています。

湾口部表層（A1）における水温平年差の変動



沖合域水深 200m（A4, A12, A19 の平均）における水温平年差の変動



※水温平年差は過去10年平均値との差

【渥美外海の海況】

渥美外海の水温は、表層で 17.3~23.9°C、水深 100m で 19.7~23.5°C、200m で 15.4~18.2°C になっていました。水温は沿岸域で低く、黒潮からの暖水波及の強い沖合域で高くなっています。鉛直断面図を見ると、水深 0~100m は均一な水塊となっています。A15 から沖合では傾きが極めて大きく、東向き強い流れがある模様です。

水温の水平分布図と水温、塩分、密度の鉛直断面図

